

<p>【イベント名】 第3回 フィリピン遠隔医療ワークショップ</p>	<p>【概要】 準備期間が非常に短かったにも関わらず、オーガナイザーは素晴らしいプログラムに仕上げた。フィリピン遠隔医療ネットワーク(TNP)でライブデモンストレーションを実施したのは初めてであったが、会は円滑に進み、参加者も多く集まった。遠隔発表では音声信号のトラブルにより遅延が起きたが、遠隔地側で上手く調整することができた。トピックの一つはフィリピン国内における遠隔医療の機器の標準化であった。今後の活動に対する指針が設立されることを願っている。</p>
<p>【期日】 2019.01.19</p>	
<p>【会場】 ダグパン・ドクターズ・ビラフラー記念病院, イロイロ市セント・ポール病院, ヴィセンテ・ソット記念医療センター, セントルークス医療センター ケソン市, フィリピン大学 マニラ総合病院, ダバオ ドクターズホスピタル, デ・ラ・サル大学メディカルセンター, マカティ メディカルセンター, アジア病院 医療センター, 国立腎臓・移植センター (すべてフィリピン)</p>	

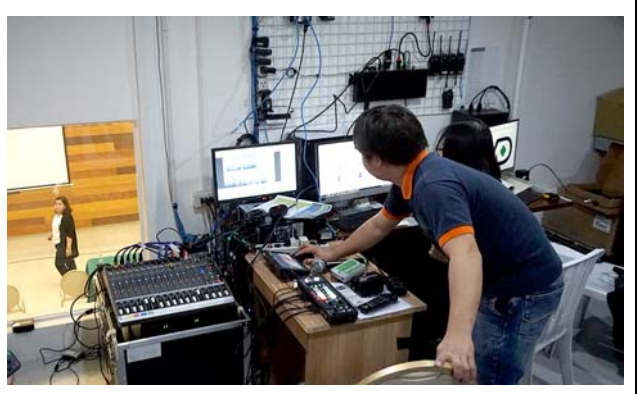


発表するDr. Vivencioとモニタに映し出される接続施設。
撮影場所：ダグパン・ドクターズ・ビラフラー記念病院

コメントする参加者。
撮影場所：ダグパン・ドクターズ・ビラフラー記念病院

提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院

提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



メイン会場でのグループ写真。
撮影場所：ダグパン・ドクターズ・ビラフラー記念病院

接続を調整するエンジニア。
撮影場所：ダグパン・ドクターズ・ビラフラー記念病院